

非効率な情報管理を改善

# Power Automateで工程管理を自動化 スマートな現場作りの実現



# INDEX

はじめに	02
Power Automateで建設をスマートに	
1 導入の背景	04
課題：建設現場のスマート化・効率化にチャレンジ	05
2 Power Automateが選ばれた理由	08
メリット1：専門的な知識不要で自動化できる	10
メリット2：システムの水平展開が可能	11
メリット3：他サービスとの連携が可能	12
3 導入の効果	13
効果1：管理システムのICT化で業務効率が激変	14
効果2：少人数で効率的な施工が可能に	15
効果ビフォーアフター	16
おわりに	17
Power Automateは建設現場も自動化	
サービスメニュー	18
企業情報	20

# 1. 導入の背景

## 課題：建設現場のスマート化・効率化にチャレンジ

従業員数1万人弱を抱える大手ゼネコンのA様は、旧態依然でなかなかICT化が進まない建設現場を変えるため、作業の自動化、管理のリモート化、全プロセスのデジタル化を目標に掲げました。

また、労働人口の減少や3Kといわれる職場環境により、建設業界の若手就労数が減り続けていることも、ICT化による生産性向上と働き方改革が急がれる背景でした。このためまずは、**建設現場のアナログな情報共有と非効率な施工管理からの脱却**にポイントが絞られました。

### 企業 プロフィール

【業種】建設

【企業規模】約8,000人

【企業概要】

土木・建設工事の元請として大きなプロジェクトに携わる

### 3. 導入の効果

## 効果1：管理システムのICT化で業務効率が激変

- Power AutomateとMicrosoft Formsの組み合わせで、**現場のスケジュール管理や情報共有を自動化**。いつでもどこでも誰でも進捗把握が可能になり、施工管理がスムーズに
- 工事完了報告をするアプリをPower Appsで自社作成。簡単なスマホ入力で報告可能になり、現場や協力会社との連絡が円滑になった
- **入力された情報はPower Automateで開発したワークフローに沿って自動処理**。さらにSharePoint Online上に置かれたExcelへ自動反映されるようになったため、社員の進捗管理の負担が激減した

